

資 料

海生研シンポジウム2023 海洋環境におけるトリチウムの動態とモニタリング

2021年4月に政府が示した基本方針を受け、ALPS（多核種除去設備：Advanced Liquid Processing System）処理水の海洋放出に備えた様々な準備が進められている。処理水中に含まれる除去が困難なトリチウムについては、関係省庁が丁寧な説明を実施しているものの、水産業界や消費者を含めて国内外から懸念の声がある。

本シンポジウムでは、トリチウムに関する基礎知識や分析技術、海洋環境における挙動、海洋放出およびモニタリングの現状について、専門家による講演をとおして、最新知見の共有を図ることを目的とした。

プログラム

日時：2023年8月23日（水）14：00～17：20

場所：御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター 2階 sola city Hall [WEST]
（東京都千代田区神田駿河台4-6）

トリチウムとは？ その化学と科学と社会学

公益財団法人海洋生物環境研究所 フェロー 宮本 霧子

魚類のトリチウム移行に関する実験的研究

公益財団法人環境科学技術研究所 環境影響研究部 研究員 石川 義朗
安全確認を目的とした魚介類中トリチウム迅速分析法

一般財団法人九州環境管理協会

技術部 先進領域課 主席研究員 玉利 俊哉

福島第一におけるALPS処理水海洋放出に向けた取り組み

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

プロジェクトマネジメント室 副室長 入野 隆之

海生研が実施する海域モニタリングの概要

中央研究所 海洋環境グループマネージャー・主幹研究員 小林 創